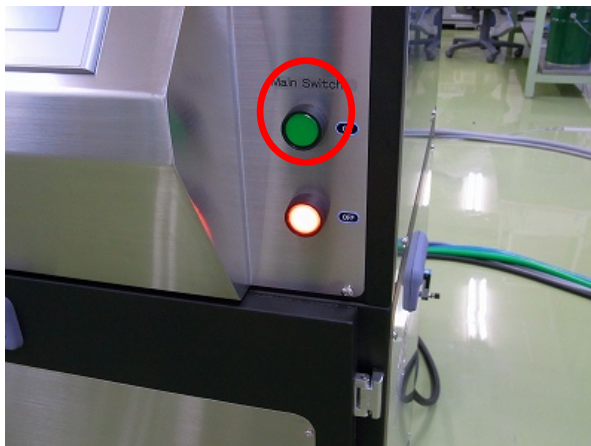


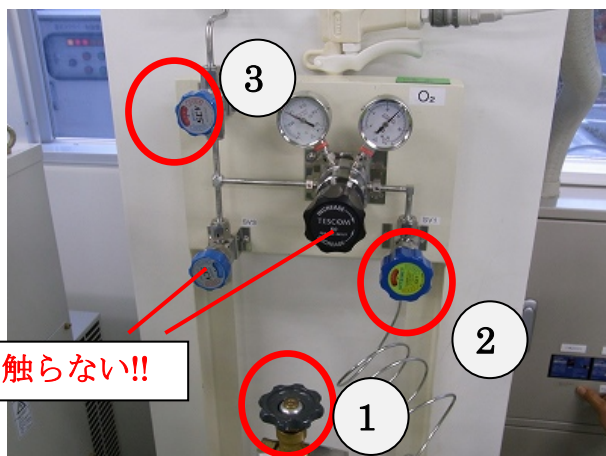
# アッシャー(SAMCO PC-300)使用マニュアル

## 《立ち上げ》

- ①窓際の一番左のブレーカー **オン**、 Main Switch **オン**  
(約 10 秒後に画面に **START** が表示される)



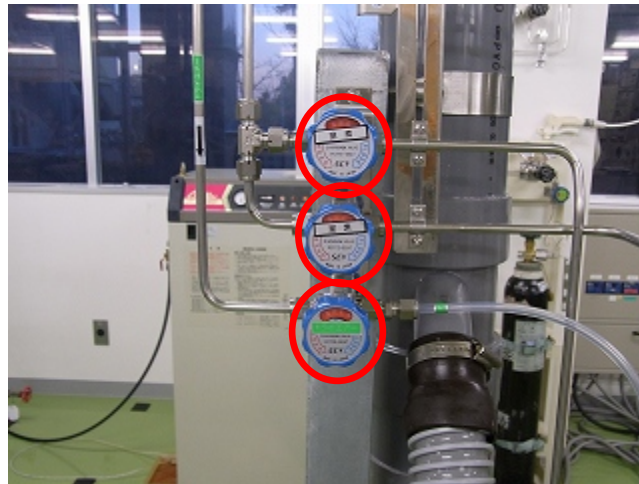
- ②ガス圧  $0.1 \pm 0.05 \text{MPa}$  を確認して、 $\text{O}_2$  ボンプのバルブ・レギュレータ前のバルブ・レギュレータ後のバルブの順に**開け**、 $\text{N}_2$  導入ラインのコックを**開ける**



- ③ポンプの排気バルブを C まで**開ける**



④装置後ろの上と中央の N<sub>2</sub> 導入バルブと下の圧縮空気のバルブを開ける



⑤画面の START をタッチ

### 《各画面の説明》

- |           |                           |
|-----------|---------------------------|
| 1.Main 画面 | レシピの選択、実行とプロセスの簡易モニタリング画面 |
| ⇒ Menu ⇒  | 2.Recipe 画面 レシピの作成画面      |
| 3.Flow 画面 | プロセス中のモニタリング画面            |

1.Main 画面

2.Recipe 画面

3.Flow 画面



### 《レシピ作成》

- ①Recipe 画面にする
- ②レシピ番号をタッチして、編集したい番号を入力(使用できる番号は別紙参照)
- ③各パラメータをタッチして、値を入力

\*各パラメータの意味

Gas1 : O<sub>2</sub> の供給流量(0~50sccm)      Gas2 : 使用不可

RF : 入力電力(0~300W)      Time : プロセス時間

Back Press : 真空引きから O<sub>2</sub> 導入し始める圧力(10Pa が標準値)

Cycle Purge : チャンバー内を N<sub>2</sub> で置換する回数と秒数(0 cycle 0 sec が標準値)

## 《使用方法》

- ① ドアを**開け**、サンプルを**置き** \*サンプルの置き方は下記参照、ドアを**閉める**
- ② Main 画面に**する**
- ③ レシピの番号を**タッチして**、使用したいレシピを**入力**、Config Recipe を**タッチ**
- ③ Start を**長押しする**とプロセス開始 (STOP を長押しでプロセス中止)
- ④ チューニングバルブ(TV)でプロセス中のチャンバー内の圧力を**調節できる**



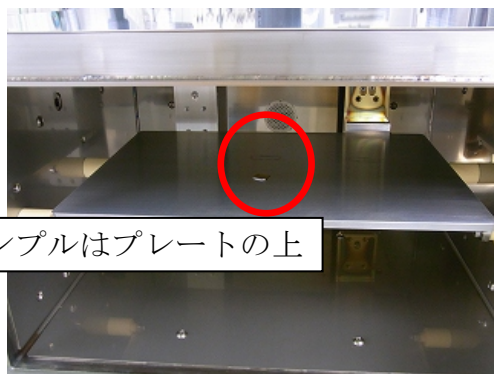
- ⑤ Vent が終了したら、ドアを**開け**、**プレートが非常に熱くなっている**ので**注意して**、サンプルを**取り出して**、ドアを**閉める**

## \*RIE モードと PE モード

RIE モード	レート <b>早い</b>	デバイス損傷の可能性 <b>高い</b>
PE モード	レート <b>遅い</b>	デバイス損傷の可能性 <b>低い</b>

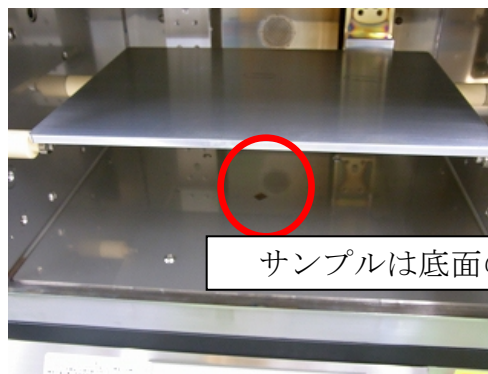
## プレートとサンプルセットの仕方

### RIE



サンプルはプレートの上

### PE



サンプルは底面の上

## \*アラームの解除

ドアを閉めずにプロセスを開始しようとする安全装置が働き、アラームがなって、アラームを解除しないと、プロセスを行えません。アラームの解除は以下の通りです。

Main 画面⇒Menu⇒Alarm 画面⇒Reset

《立ち下げ》

- ①使用記録簿でページが一番上のときは、プレートと側面をエタノール(汚れが取れない場合はアセトン)で拭いて、サンプルを入れずにレシピ番号 99 の O<sub>2</sub> クリーニング(10分)を実行し、使用記録簿にチェックを入れる。必ず行うこと!!
- ②Main Switch  オフ
- ③装置後ろの N<sub>2</sub> 導入バルブと圧縮空気のバルブを  閉める
- ④ポンプの排気バルブを S まで  閉める
- ⑤N<sub>2</sub> 導入ラインのコックを  閉め、O<sub>2</sub> レギュレータ後のバルブ・O<sub>2</sub> レギュレータ前のバルブ・O<sub>2</sub> ポンペのバルブの順に  閉める
- ⑥ブレーカー  オフ

《編集履歴》

Ver1.0    2009/12/16    木股研 6851 西中一平